

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2001-192571(P2001-192571A)
 【公開日】平成13年7月17日(2001.7.17)
 【出願番号】特願2000-201515(P2000-201515)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)
 C 0 8 J 5/00 (2006.01)
 C 0 8 K 7/02 (2006.01)
 C 0 8 L 73/00 (2006.01)
 C 0 8 L 77/00 (2006.01)
 C 0 8 L 101/12 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00
 C 0 8 J 5/00 C F A
 C 0 8 J 5/00 C F G
 C 0 8 K 7/02
 C 0 8 L 73/00
 C 0 8 L 77/00
 C 0 8 L 101/12

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月4日(2007.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

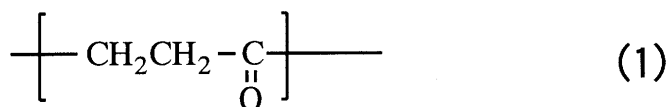
【請求項1】(A)非液晶性樹脂20～99.9重量%(対(A)および(B)の合計)および(B)液晶性樹脂80～0.1重量%(対(A)および(B)の合計)からなる樹脂組成物100重量部ならびに充填材(C)5～200重量部を含有してなり、かつ該液晶性樹脂の分散粒子の60%以上が0.5～1.5の分散径(は重量平均分散径)を有することを特徴とする気体および/または液体バリア部品用強化樹脂組成物。

【請求項2】充填材(C)の長径あるいは繊維長が60μm以下の存在割合が全充填量の5～50重量%であることを特徴とする請求項1記載の気体および/または液体バリア部品用強化樹脂組成物。

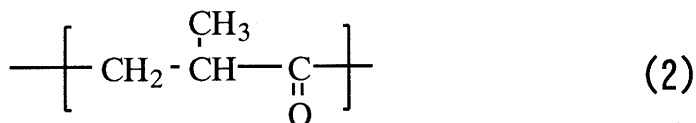
【請求項3】該組成物中の非液晶性樹脂がポリアミドであることを特徴とする請求項1または2記載の気体および/または液体バリア部品用強化樹脂組成物。

【請求項4】非液晶性樹脂(A)が下記一般式(1)と(2)で表される繰り返し単位からなるポリケトン共重合体であることを特徴とする請求項1または2記載の気体および/または液体バリア部品用強化樹脂組成物。

【化1】



x



y

(x、y はポリマー中のモル%を表す。)

【請求項 5】該ポリケトン共重合体の y / x が 0.01 ~ 0.10 であることを特徴とする請求項 4 記載の気体および / または液体バリア部品用強化樹脂組成物。

【請求項 6】請求項 1 ~ 5 いずれか記載の気体および / または液体バリア部品用強化樹脂組成物を加工してなる、薬液および / またはガスの搬送チューブ、薬液および / またはガスの貯蔵用容器またはそれらの付属部品に用いられる成形品。

【請求項 7】加工が射出成形によるものである請求項 6 記載の成形品。

【請求項 8】加工が押出成形によるものである請求項 6 記載の成形品。

【請求項 9】加工が吹込成形によるものである請求項 6 記載の成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

すなわち本発明は、

(1) (A) 非液晶性樹脂 20 ~ 99.9 重量% (対 (A) および (B) の合計) および (B) 液晶性樹脂 80 ~ 0.1 重量% (対 (A) および (B) の合計) からなる樹脂組成物 100 重量部に対し、充填材 (C) 5 ~ 200 重量部を含有してなり、かつ該液晶性樹脂の分散粒子の 60% 以上が 0.5 ~ 1.5 の分散径 (は重量平均分散径) を有することを特徴とする気体および / または液体バリア部品用強化樹脂組成物、

(2) 充填材 (C) の長径あるいは繊維長が 60 μm 以下の存在割合が全充填量の 5 ~ 50 重量%であることを特徴とする上記 (1) 記載の気体および / または液体バリア部品用強化樹脂組成物、

(3) 非液晶性樹脂 (A) がポリアミドであることを特徴とする上記 (1) または (2) 記載の気体および / または液体バリア部品用強化樹脂組成物、

(4) 非液晶性樹脂 (A) が下記一般式 (1) と (2) で表される繰り返し単位からなるポリケトン共重合体であることを特徴とする上記 (1) または (2) 記載の気体および / または液体バリア部品用強化樹脂組成物、

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(x、y はポリマー中のモル%を表す。)

- (5) 該ポリケトン共重合体の y/x が $0.01 \sim 0.10$ であることを特徴とする上記
- (4) 記載の気体および/または液体バリア部品用強化樹脂組成物、
- (6) 上記(1) ~ (5) いずれか記載の気体および/または液体バリア部品用強化樹脂組成物を加工してなる薬液および/またはガスの搬送チューブ、薬液および/またはガスの貯蔵用容器またはそれらの付属部品に用いられる成形品、
- (7) 加工が射出成形によるものである上記(6) 記載の成形品、
- (8) 加工が押出成形によるものである上記(6) 記載の成形品、
- (9) 加工が吹込成形によるものである上記(6) 記載の成形品を提供するものである。